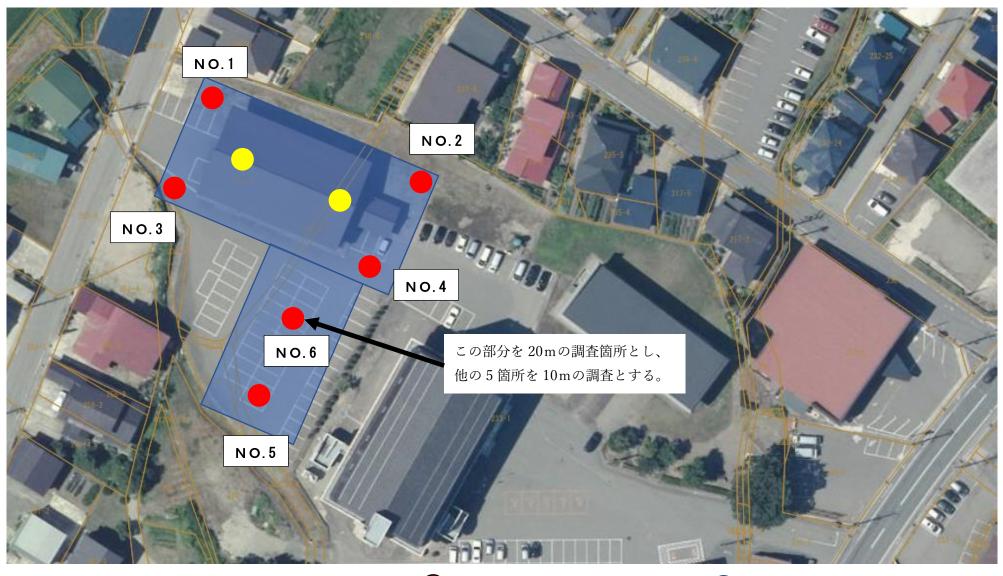
【真室川町地域交流センター 地質調査箇所図】



今回調査を想定する箇所

武道館建設時のボーリング箇所 (10m、過去データあり)

調 査 名 令和7年度 真室川町地域交流センター建設事業 地質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

				-															シートNO				
ボー	- リ:	ング名		1	No.	1		調査位置			最上群真	室川	町大与	字新 町	订124	4 - 4		;	北 緯				
発	注	機関		真	[室]	川町	拳	故育委員会 教	育 課		調査期間	令和	7年	7月	10日	~ 7年	7月 11	1 日]					
調	査 業	者名	t t	株式会 電話 (生 i 023	第 田 7 - 8	地 矽 4 - 4	主任技師	高橋 信	_	現 場代 理 人	庄 司	絵和	训加	コ 鑑 定	ア 由 市	絵 利	加	ボ−リング 責 任 者	自	 田	克 法	711
孔	П	標高	H= 70. 32	角	180° 上	90		方 北 0°	b g _{gy} 水平0°	用	試 錐 機	東邦	3 地下	工機	社製	D 1 型	ハンマ- 落下用具	=	半自	動落	下装	置	
総	掘	進長	10. 28	強度	下	ナ	F	270° — 90° 型 西	数 対 対 直 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	北 幺比	エンジン	ヤン	ノマー	社 製	TF	120型	ポンフ	プ東	邦地下口	二機社	:製	B G – 3	B型
標	標	層	深木	主	色	相	相	記	孔内			標	準 貫	入	試 駿	ì	J	原 位	立置 試	験詢	式料採	取	ヹ 掘
				質		対	対		水 位 (m)		10cmごとの 打撃回数 [了 登 可		N	1 1	値		1/1	試 験 および結		架 試	採影	1 進

標	標	層	深	柱	土	色	相	相	記	孔内						標	準	貫	入	試	験				原	位	置	試	験	試米	斗採	取	室	掘
尺	追	厚	度	状	質		対	対		水 位 (m)	深	打	Demご 「撃し	3数	子 回 数					N	●値				深	記 よ /	た 験		名果、	深	試料	採取	内試験(進
					区		密	稠		測定	度	0	10	20	/ 貫入										度					度	番	方		月
(m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	度	事	月 日	(m)	10	0 20	30	量 (cm))	0	10	2	0	30	40	!	50 60	(m)					(m)	号	法	$\overline{}$	日
	69.72	0.60	0.60		盛土				GL-0.00~0.05m間アスファルト。 GL-0.05m以深、砕石。																									
1	68.82	0.90	1.50		砂質シルト	暗灰		位	含水少位、粘性弱。 全体に中砂〜粗砂を混入する。 所々、φ30mm程度の亜円礫点在。 GL-1.40m以深、砂の混入多い。		1.15		2 2	2	6 30	6	G	+																1
2	67.82	1.00	2.50	1.0.0.		茶褐色	中位の		含水多い。 φ5~40mm程度の亜円~円礫を主体 とする。 マトリックスは中砂~粗砂。	7/11 2.63 —	2.15		6	5	17 30	17			8							_								
3					玉 石 混	茶	非常		逸泥有り。 含水少位~中位で所々含水多い。 φ5~40mm程度の亜円~円礫を主体 とする。		3.15	5 1/	0 9 0 24		30	49							6											7
5	65.02	2.80	5.30		砂砂	灰	に密な		とりる。 所々、短棒状の玉石が点在する。 マトリックスは粒子不均一な粗砂。 逸泥有り。		4.15 4.45 5.15		2 13		38	55										-								10 -
6	00102	2100	310.								5.45 6.15	١.	4 17	21		38 52						«\		Q	_									
7					風	黄褐色			粒子やや均一な細砂状を呈し、所々 φ5mm程度の小礫を混入する。 全般に固結の程度は低く、低固結状 を呈す。		7.15 7.42	17	7 21	22											>	-								
8					化 砂 岩	~ 淡青			岩質は脆く、指先で容易に砕ける程度の硬さである。 GL-10m付近まで風化・変質を強く受け、黄褐色を呈す。		8.15	17	7 24			69									_ >	_								
9						灰			GL-10m付近以深、淡青灰色を呈し、 比較的新鮮な状態である。		9.05	-	7 25 9 29	6		69									>									
10	60.04	4.98	10.28								10.05)	ə 29	12/3	23	78									>									7 11 11 1
11																																		1

調 査 名 令和7年度 真室川町地域交流センター建設事業 地質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートNo

						-														シートNo					
ボー	- リン	ノグ名			N	o. :	2		調査位置			最上群真	室川	町大字	新町1	24-	4			北緯					
発	注	機関			真	室丿	川町	教育	委員会 教	女育 課		調査期間	令和	7年 7.	月 16	日 ~	~ 7年	7月 1	7 日	東経					
調	査 業	者名			. 会 社 (話 ((5 田 년 7 - 8 4	也 研 -4355	主任技師	高橋	信一	現 場代 理 人	庄司	絵利	加鑑	定者	庄司	絵利	加	ボ-リング 責 任 者	į.	前田		江法	
孔	П 7	標高		H= .35m		180° 上卜	\ 90°	方	北 0°	地 盤 瓜水平	0° 伊	試錐機	東非	邓地下工			D 1 型	ハンマ- 落下用』	-		動落	下	装置		
総	掘	進長	10). 28m	度	下 0°	ナ** 	西 向	東 180°南	盤	梯 相	エンジン	ヤ	ンマーを	上製	T F 1	20型	ポン	プ東	邦地下二	口機社	上製	ВG	- 3 B	型
標	標	層	深	柱	土	色	相	相	記		孔内		標	準 貫	入 試	験			原位	立置試	験訁	式料	採取	室	掘
	감		莊	状	質		対	村			水位(m)	2	打擊回		N	値			1/1	試 験 および約			試 採 取	験	進
尺	高	厚	度	扒	区		密				/		数 /]]						度	/		度	番 方		月

標	標	層	深	柱	土	色	相	相	記		孔力					標	準	貫	入	試	験	ì				原	位	置	試	験	試米	4 採	取	室内	掘
尺	高	厚	度	状	質			対		(1)	m) /	1	10cmこ 打撃 0 10	回数	撃回数					<u>N</u>	<u> </u>	直一				深度	試お/	り よて	後 彡				採取	討験(進
					区			稠		7	測 ² 定 ₂	2	\(\)		一貫																		方		月
(m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	度	事		月 (i	n)]	10 20	30	(cm)	10	2	0	30	4	10	50	60	(m)	\			4	(m)	号	法)	日
	69.75	0.60	0.60	<u>-</u>	盛土砂	-		_	砕石主体。 GL-0.40m付近以深、礫混じり砂。																										
1					質シル	暗灰		柔らか	含水少位、粘性弱。 全体に中砂〜粗砂を混入し、φ5〜 20mm程度の円礫を混入する。				1 1 15	1	3/35	_ 3	9																		
2	68.20	1.55		0.0.0	<u> </u>	茶	中	い	含水中位。		2	.15	3 4	3	10 30	10																			
3	67.55	0.65	2.80		礫	褐色	位の		φ5~40mm程度の亜円~円礫を主体 とする。 マトリックスは粒子不均一な粗砂。	7/3	7/17 3	.15	19 29	$\frac{12}{3}$							+			-											
4							中			-		.05	26 15																						
5					玉 石 混	茶灰	位 の ~		含水中位。下部、含水多い。 φ5~40mm程度の亜円~円礫を主体		5	35 00 12	44 16	3	60									ļ -	->										
6						~ 茶 褐	非常に		とし、所々 650~70mm程度の礫が点 在する 最大コア長L=100mm (推定 6300mm) 程度の玉石を混在する。				14 24	1 16	54 30	5.4								A-											7-
					礫	灰	密な		マトリックスは中砂〜粗砂。			.45	11 0	7								_													16
F 7												.15	11 9	+'	27 30	_ 27				(*														
8	62.45	5.10	7.90	0,50,0		黄			粒子やや均一な細砂状を呈し、所々 φ5~10mm程度の小礫を混入する。			.10	16 21	$\frac{23}{7}$	60 27	67								-	/										
9					風 化	褐色~			全般に固結の程度は低く、低固結状を呈す。 岩質は脆く、指先で容易に砕ける程度の硬さである。		9	.00	18 25	$\frac{17}{6}$	60 26	69								-	>										
10					砂 岩	淡青			GL-10m付近まで風化・変質を強く受 け.			.05	20 28	$\frac{12}{3}$																					7
	60.07	2.38	10.28			色			GL-10m付近以深、淡青色を呈し、比較的新鮮な状態である。		10	.28		3	23	78								-	->										17
11																											-								
F																																			

調 査 名 令和7年度 真室川町地域交流センター建設事業 地質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シートMo

	<u> </u>		シートNo
ボーリング名	No. 3	調査位置 最上群真室川町大字新町124-4	北緯
発 注 機 関	真室川町 教育委	[] 会 教育課 調査期間 令和 7年 7月 8日 ~	7年 7月 10日 東 経
調査業者名	株式会社 髙田地研 電話(0237-84-4355)	主任技師 高橋 信一 現 場 庄司 絵利加	庄司 絵利加 ボーリング 前田 克法
孔口標高	H= 角 180° 方 270° 270°	北 0° 地 使 計 44 地 まおルエエ 地 む 期 ゎ	1型 ハンマー 落下用具 半自動落下装置
総掘進長	10.41m	90° 東 知 下 工 機 任 製 D 機 東 邦 地 下 工 機 任 製 D 機 エンジン ヤ ン マ ー 社 製 T F 1 2 0	0型 ポンプ 東邦地下工機社製 BG-3B型
		→ 1 → 1 → EA	
標 標 層	深 柱 土 色 相 相	記 標 準 貫 入 試 験	原位置試験試料採取室掘
	質対対	水 次 10cmごとの 打 撃 11 12 12 13 14 15 15 15 15 15 15 15	深 試 験 名 深 試 採 試 験 進
尺一高一厚一	度 状	度 0 10 20 数 / 無	度

標	標	層	深	柱	土	色	相	相	記		孔内					標	準	貫	入	試	験				原	位	置	試 5	食試	料技	采取	1	掘
	<u> </u>	Ĭ	de	JID	質		対	対		1	水位 (m)		10cmご 打 撃		学	:				N	値				深	試お	験 よび	名 結果	1/1			内試験	進
尺	高	厚	度	状	区		密	稠		ì	/	变	0 1		貫						<u> </u>				度				度	料番			月月
(m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	度	事		月一	m)	10 2		量	:)	10	2	0	30	40	50	60	(m)) (m)) 号	- 法		日
	69.77	0.50	0.50	:	盛土				GL-0.00~0.05m間アスファルト。 GL-0.05m以深、砕石およびシルト混 じり砂。									Ĩ															
1	68.62	1.15	1.65		砂質シルト	暗灰		軟らかい	含水少位、粘性弱。 全体に細砂〜粗砂を混入する。 所々、φ30mmの亜円礫点在。			.15	2 1	. 1	30	4	6																7-8
2				0.0.0	玉		中位		含水少位~中位。GL-3m付近含水多		2	.15	9 8	8 8	25 30	25				Vo													
3					石湿	茶褐	の と 非		い。 φ5~40mm程度の亜円~円礫を主体 とし、所々φ50~70mmの礫を混入す	7.	3.11 <u>-</u> 3	.15	22 3	$0 \left \frac{8}{2} \right $		82		+						<u> </u>									1
4					り砂	色	常に		る。 最大コア長L=200mm (推定φ600mm) 程度の玉石が点在する。			.37	13 1	2 13											_	-							1
5	65.37	3.25		0.000	1575		密な		マトリックスは中砂〜粗砂。			.45	13 1	7 19								9											1
												.45			30																		
6						黄			粒子やや均一な細砂状を呈し、所々 φ5~10mm程度の小礫を混入する。			.45	13 1	5 18	30	46							4										1
7					風化	褐色~			全般に固結の程度は低く、低固結状 を呈す			.15	14 1	6 18	48 30	48							\$										1
8					砂 岩	淡青			岩質は脆く、指先で容易に砕ける程度の硬さである。 GL-10m付近まで風化・変質を強く受け、黄褐色を呈す。		_8	.15	19 2	$\begin{array}{c c} 3 & 18 \\ \hline 6 & \\ \end{array}$	60	69									•	-							
9						灰			GL-10m付近以深、淡青灰色を呈し、 比較的新鮮な状態である。			.41	21 2	$\begin{bmatrix} 13 \\ 4 \end{bmatrix}$	60																		7_
10												.39	16 2	4 20		69													_				7-
	59.86	5.51	10.41									0.41		6	26	69								>									10 =
11																																	1

調 査 名 令和7年度 真室川町地域交流センター建設事業 地質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

11

シートNo

ボー	- リン	グ名			N	ο.	4		調査位置			J	最 _	上群	真	[室川	一町ナ	大字	新田	丁 1 2	4 -	4				北		緯						
発	注 梯	幾関			真	室丿		Ţ	教育委員会 教育課				調	查期	間	令和	1 7年	= 7,	月	14日	~	7年	7	月 1	5 目	東		経						
調	査 業	者名			元 会 社 2話 ((地	研 4355) 主任技師 高橋	1	信 -	_	現代	理	場人		了 糸	会利	加	監定	ア:者	庄;	ī	絵系	刂加	ボー責	-リ 任	ング : 者		前日	<u></u> 丑	克	法	
孔	口模	票高		H=). 19m	角	180° 上	<u>\</u> 9		方 北 0° 地 270° 90° 盤 🔬 🖈	、平0°		使 用	試	錐	機	東	郎 地					1型		ンマ					•	落下	、装	置		
総	掘	進 長	10	O. 38m	度	 下 0°	ナ゛		270° — 90° 盤 鉛 西 東 勾 直 配 90°	ア		機種	ェ	ンジ	シ	, +	ンマ	一 참	上製	ΤI	F 1 2	0 型		゜ン		東邦	3 地	下口	□機	社製	Į	ВG	- 3 E	3型
Land	lari		Vart.	10.		-	Les	Les			孔					Loui	\$/# *	#	٦.	<i>A.</i> E.	E/V					/		4.5		\ \ \ \ \ \	N 455	; TC-		T ₁
標	標	層	深	柱	土	色	相	相	記		内	\	1.0	- " 1. ∠	D :	標 打	準	貝	<u>人</u>	試	夢				1	位置試	置	 験		試米			室内	掘
					質		対	対			位 (m)			ごとの と回数		撃			N		値				深			映 び結	名片果	深	試	採	試験	進
尺	高	厚	度	状	区		嫁	稠			/	H		10 20	- 3				-						度	/				度	料	取	(月
							省	170			定		>	> >		貫入															番	方	ı	7
(m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度	度	事		月日	(m)	10	20 30	$0 \left \frac{1}{2} \right $	量 (cm) 0		10	20	3	0	40	50	60	(m)					(m)	号	法	<u> </u>	日
	69.79	0.40	0.40		盛土				GL-0.00~0.05m間アスファルト。 GL-0.05m以深、砕石。 含水少位、粘性弱。																									
1	68.84	0.95	1.35		候化し りシル ト	暗灰		中位の	- 全体に中砂〜粗砂を混入し、φ5〜3 Omm程度の円礫が点在する。			1.15	2	4 5	5	11 30 11		0				-				-							1	1
2	67.94	0.90	2 25	0000	砂	茶褐	中位		含水中位。 φ5~40mm程度の亜円~円礫を主体 とする。			1.45 2.15	7	53		60						+											ı	
	01.01	0.00	2.20		礫	色	の		マトリックスは粒子不均一な粗砂。 GL-1.80m付近、シルトを薄く挟む。			2.34	60	9		19 95 60 8 225									•								ı	
3					_		中					3.05	8			220									>								ı	
£ 4					玉 石 混		位の)		含水少位〜中位。 φ5〜40mm程度の亜円〜円礫を主体 とし、所々φ50〜70mm程度の礫が点 在する			4.05		18		60 13 138									•	-							1	1
					じり	茶灰	非常		在する 最大コア長L=120mm (推定 φ 360mm) 程度の玉石を混在する。				10	10 6	3	26																	1	
					砂礫		に密		を見り宝石を促在する。 マトリックスは中砂〜粗砂。 逸泥有り。			0.10		30		26 30 60 26				-													1	
6	63.59	4 25	6 60				な					6.00		5		15 120									•	-							1	
7	05.59	4.35	0.00	0.0.					粒子やや均一な細砂状を呈し、所々			7.15	12	15 17	7	44 30 44																	İ	7-
						黄褐			φ5mm程度の小礫を混入する。 全般に固結の程度は低く、低固結状		-	7.45	1.4	10.0								G	$\sqrt{}$										Ī	14
8					風 化 砂	色 ~			を呈す。 岩質は脆く、指先で容易に砕ける程 度の硬さである。			8.15 8.45	14	18 24	4	56 30 56								B									Ī	
9					岩	淡 青			GL-10.25mまで風化・変質を強く受け、黄褐色を呈す。 GL-10.25m以深、淡青灰色を呈し、比			9.15	15	20 25	5	60 64			+						•	-							Ī	
10						灰			較的新鮮な状態である。他地点と比較して含水やや多い。			9.43 10.15	15	30 15		60																	Ī	7,-
E 10	59.81	3.78	10.38				-	-				10.13		$\frac{3}{3}$	3	<u>23</u> 78								-	}								Ì	7

査 名 令和7年度 真室川町地域交流センター建設事業 地質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

風

化

砂

岩

風化泥 岩

褐

色 ~

淡

青

灰

暗

褐

6

5.20

3.40 10.10 0.35 10.45

59.72

59.37

10

11

								, -																	シ	— FN	.0						
ボー	・リン	グ名			N	o. 5	5		調査位置			占	是 上	群	真鱼	<u> </u>	丁大	字親	可	1 2 4	- 4				北	,	緯						
発	注析	幾 関			真	室川	川町	* ±	教育委員会 教育課				調査	期	間分	介和	7年	7)	3	3 日	~	7年	7月	8 日	東		経						
調	上業	者名			□ 会 社 図話 (0			地 4	开 4 3 5 5) 主任技師 高橋	信	<u>†</u> —		現 代		場人	E司	絵	利力	コ鑑	定	ア 者	主司	絵	利加	ボ責	ーリン 任	ング 者		前日	<u>——</u> 丑	克	法	
孔	□ ᡮ	漂高		H= 9.82m	角	180° 上	9		方	平0°	何月	Ħ	試	錐 7	機	東邦:	地下	工村	幾 社	: 製	D I		ハンマ 落下用			4		動氵	落 下	、装	置		
総	掘	進 長	1	0.45m	度	下	ナ ⁻		270° — 90° 盤 鉛		村	幾 重	エン	・ジ:	ン	ヤン	マー	一社	製	TF	20	型	ポン	プリ	東邦	₿地 ¯	下工	機才	社 製	į]	B G -	- 3 B	型
Land	lant		Var	15.		<i>h</i>	Les	Len	±-1		L					Lauri S/A	(11	± -		Λ= 4					/		4.E	 ∧	<u></u>		TE.		L
票	標	層	深	柱	土	色	相	相	記	Þ	5					標準	= 月	入	· 市	験				原	位	置		-		斗採		室内	掘
					質		対	対		位	K 立 n)		Ocmこ 丁撃		打擊回				N	ſ	直			深			験 / び結り		深	試		試験	進
尺	高	厚	度	状	区		密	稠		/ / /	/ [-	0 10	_	数 /					-	_			度					度	料			月
					<u> </u>		тш	1/14		匀	É		>	}	貫入															番	方		/1
(m)	(m)	(m)	(m)	図	分	調	度		事	F]] (1	m)	.0 20	30	量 (cm)	0	10		20	30	4	0	50 6	(m)				\parallel	(m)	号	法	\smile	日
	69.32	0.50	0.50		盛土				GL-0.00~0.05m間アスファルト。 GL-0.05m以深、砕石およびシルト混 じり砂。																								1
1	68.32	1.00	1.50		砂質シ ルト	暗灰		に軟					1 30		1 30	1 0-											. – – – –						7 3
2				0.0.0		15%		い。	院々、φ5~10mmの亜円礫点在。			.45	10 20	18	48			_		_													=
										7, 2.3 ———————————————————————————————————	/8 83 2.	.45		+		48						9											
3				0.000	玉	茶	密な		含水少位~中位。		3.	.10	19 20	20	59 30	59								Ø	-		. – – –						
4					石 混 じ	褐灰	~ 非		φ10~40mm程度の亜円~円礫を主体 とし、所々φ50~80mmの礫を混入す			.15	14 17	21	52 30	52																	
5					り砂	~ 茶	常に密		る。 最大コア長L=200mm (推定 φ 600mm) の玉石を混入する。 マトリックスは中砂〜粗砂。		- 1	.45	25 28	7 2	60	1																	-
)				0.000	礫	灰	密な		、 ログ ググ Ara 中4グ ~性40。		5.	.27	37 23		60	82																	

6.19

7.42

8.15

8.37

9.05

9.26

10.15

10.45

粒子やや均一な細砂状を呈し、局部的に粗砂状を示す。 全般に固結の程度は低く、低固結状を呈す。 を覚け脆く、指先で容易に砕ける程度の硬さである。 GL-9m付近まで風化・変質を強く受け、黄褐色を呈す。 GL-9m付近以深、淡青灰色を呈し、比較的新鮮な状態である。

全体に風化し細砂状を呈す。 所々低固結状を呈すが、岩質は脆く、指先で砕ける程度である。 亜炭を薄く挟在する。

23 4

15 22 23 7

29

 $\begin{array}{c|c}
32 & 3 \\
\hline
1 & 1
\end{array}$

 $\frac{7}{2}$ 60 22

15

37 6.05

24

25

6

60 129

60 27 67

 $\frac{60}{21}$

86

 $\frac{31}{30}$ 31

調 査 名 令和7年度 真室川町地域交流センター建設事業 地質調査業務委託

ボーリングNo

事業・工事名

シート№

_	リン	グ名			N	0.6	6		調査位置				最上	. 群	真:	包川	町 大 字 :	新町1:	24-4				シートNo 北	緯			
		<u> </u>				室丿		 丁 教	(育委員会 教育	課			調査				7年 6.			7年	7月			経			
		者名			t 会 社 電話 (0		- 1	地研	→ /T ++ 6I	高 橋	信		現		担	主言				庄司	絵系		ボーリン 責 任	グ	前日	 日 克	
	ー 相	票高		H=). 10m	角	180° 上卜		方	ī 北 0° 地	→ lc :	ਹਾਂ 0°	使用	試				 邦 地 下 工			1 #II	ハンマ 落下用			•	落 下	装置	i.
扌	屈道	進 長		0.16m	度	下) 9)0° 向	270°	針	- 0	機種	エン	ノジ	ン	ヤ	ンマー社	:製 T	F 1 2 (邦地下	工機	社製	B G	G - 3
						1 0		1 15.		1 90		1=															
	標	層	深	柱	土	色	相	相	記		孔内					標	準 貫	入試	験			原			試彩	採取	室内
					質		対	対			水 位 (m)	抓	10cm 3 打撃		#			N —	値			深	試 験 および		深	試 採	試験
	高	厚	度	状	区		変	稠			(11)	度		0 20	数 /							度	(度	料取	
					·						定月			? ?	貫入 量											番方	
	(m)	(m)	(m)	図	分盛	調	度	度 GI	事 L-0.00~0.05m間アスファル	/ h.	日	(m)	10 2	0 30) (cm)	(10	20	30	40	50 60	(m)	\ 		(m)	号 法	
	69.60	0.50			+			動	L-0.00〜0.05m間アスファル L-0.05m以深、砕石およびシ ごり砂。			1 15			3												
					砂質シ ルト	暗灰		きかれる	3水少位、粘性弱。 6体に粒子不均一な細砂と植 見入する。	物片を		1.15			35	3	0										
	67.95	1.65		0.000				V)			7/1	2.15	9 1	1 7	27 30	27		R									
				00000			中位				7/1 107 207	3.15	10 1	1 12	33 30	33			Ø								
				0.000	砂	茶	0 1	含 化	京水中程度。 55~40mm程度の亜円~円礫 こし、所々φ50~70mmの礫を 5。	を主体		4.15	20 1	9 10	49 30	49											
				00000	礫	褐	非常に	こるマム	、し、別ペ ♥50 *7011110分余を う。 マトリックスは中砂〜粗砂。 ≧般に逸水あり。	IE/Y		4.45 5.05	15 1	8 20		53											
							密な					5.35	7 1	2 16													
	63.25	4.70	6.85	0.000								6.15				35											
												7.15	12 1	6 20	30	48				a							
3								粒	立子やや均一な細砂状を呈し	、局部		8.15	16 2	1 23	60 28	64					-				-		
)					風	黄褐		わ 全	りに粗砂状および小礫の混入 ιる。 ≧般に固結の程度は低く、低			9.15	19 2	$\begin{bmatrix} 16 \\ 6 \end{bmatrix}$	60	69						_			-		
)					化砂	色~淡		岩魚	と呈す。 計質は脆く、指先で容易に砕 きの硬さである。			9.41	16 2	6 18	60												
					岩	青灰		GI GI	L-10m付近まで風化・変質を け、非常に脆い状態である。 L-10m付近以深、淡青灰色を			10.41	23 2	7 10	60												
									さ水やや多い。			11.28	20 2	8 12		78					->						
2	57.50	5.75	12.60									12.05		4	60	75						•					
3					泥 岩	暗褐 ~茶 褐		短示证	豆棒状〜コア長L=80mm程度の デす。 E炭層を挟在する。	棒状を		13.12		2	12	150						•			+		
1	56.40	1.10	13.70			-			D/V日 C 1火圧 / '90			14.15	20 2	$7\begin{vmatrix} 13\\ 3 \end{vmatrix}$	60 23	78									-		
5												14.38 15.15	21 2	8 11	60												
								[1	上較的粒子均一な細砂状を呈	. 		15.38	33 2	7 3	60												
5					砂	淡		全の	L製的社子均一な神砂水を宝 と般に固結の程度は低く、低)砂岩。 計質は脆く、指先で容易に砕	固結状		16.21	27 3	6	60	113					->						
7					岩	青灰			言員は脆く、指元で各多に呼 更の硬さである。 上般に比較的新鮮な状態であ ff々、短い棒状のコアが採取	。		17.20			20	90						•					
3								固	同々、短い棒人のコテルサス段 国結の程度は小程度を示す。	C40.		18.00		9 8 2	60 22	82					->				-		
9												19.00	27 3	3	60 20	90					-						
0	49.94	6.46	20 16									20.00	37 2	3	60	113											
	01	5.10	_0.10									20.16				1119											